

人が輝き まちが色づく魅了都市 ありだ

～みんなが躍動する Active Arida～

地域の
特色ある
活動

和歌山県有田市教育委員会

1 はじめに

有田市は、和歌山県の北西部、県庁所在地である和歌山市から南へ約 25 km に位置し、人口は約 27,000 人、面積は約 37 km² のまちです。海、山、川の豊かな自然に恵まれた本市は、市域の中央を霊峰高野山を源とする「有田川」が流れています。また、気候は温暖で、400 余年の歴史を持つ全国的にも有名な「有田みかん」の発祥の地であり、水産業も盛んで「タチウオ」は日本一の漁獲量を誇っています。

2 みんなで育てる有田市の子供 ～有田市のコミュニティ・スクール～

管内には、小学校が 7 校、中学校が 4 校あります（全 11 校）。

市教育委員会では「認め合い、学び合い、郷土を愛する子どもの育成を図る～小中連携を通して～」を目標に学校教育を進めています。

また、指導の重点として、「コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、地域とともにある学校づくりを推進し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する」と示し、各学校の取組を支援しています。

以前より、各学校においては地域と結びついた教育活動が展開されてきた経緯がありましたが、さらに「地域とともにある学校」づくりを進めるため、平成 29 年度、市内全ての小中学校にコミュニティ・スクールの仕組みを導入しました。

コミュニティ・スクールは、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを学校が地域と共有し、一体となって子供たちの成長を支えていくことをねらいとしています。

有田市においては、学校と地域との連携・協働をうまく機能させることにより、学校を核として地域がまとまり、子供たちの郷土を大切に思う心を育てていくことを目指しています。それぞれの学校の運営協議会におい

て、事前の打ち合わせにより協議内容を明確にし、主体的な運営を行ったりするなど、協議会自体の質の向上に努めています。また運営協議会での協議により、学校運営に対する地域社会の声が反映されるようになってきています。

(1) コミュニティ・スクール推進員・地域学校協働活動推進コーディネーター

市教育委員会では、コミュニティ・スクールの取組を円滑に推進し、その充実を図るため、平成 29～30 年度はコミュニティ・スクール推進員として 2 名を配置しました。令和元年度より地域学校協働活動と一体的に推進するため、コミュニティ・スクール推進員・地域学校協働活動推進コーディネーターを兼務する 3 名を配置しています。

(2) 有田市コミュニティ・スクール連絡協議会

コミュニティ・スクールの仕組みを導入した学校の教育活動その他の学校運営について情報を共有し、互いに連携・協力しながらコミュニティ・スクールの取組を充実・発展させることを目的としています。各学校運営協議会の会長が委員となり、年に 3 回、会を開催しています。

各学校運営協議会の充実はもちろんのこと、会が進むにつれ、有田市全体のコミュニティ・スクールの推進に向けて話し合いが進むようになり、有田市全体の「地域とともにある学校」について協議する場となっています。



(3) コミュニティ・スクールの推進に係る研修会

① 教職員を対象とした研修会
管理職（校長・教頭）、地域連携担当教員、

事務職員などそれぞれの役職に応じた研修会を計画し実施しています。令和元年度には、市内全ての教職員が集い、コミュニティ・スクールについて熟議を行いました。

②学校運営協議会委員を対象とした研修会

令和3年4月には、コミュニティ・スクールについての理解を深めるために、各学校の運営協議会委員全員を対象にした第1回有田市コミュニティ・スクール推進に係る研修会を開催しました。



③地域とつながる有田っ子プロジェクト

有田っ子プロジェクトは、夏休みの期間を利用して、市内小中学校の児童会・生徒会の子供たちが集い、熟議するリーダー研修会（宿泊研修）です。研修会では、「自分たちの学校や地域をよりよくするために」をテーマに熟議を重ねています。

令和元年度の有田っ子プロジェクトでは、学校運営協議会委員の方々にも多数参加いただきました。「学校と地域の今と未来を語る」をテーマに、子供と大人が一緒になってそれぞれの視点から熱い思いを語り合いました。

子供たちにとっては地域の方々につながる機会となり、大人にとっては子供たちの視点から様々な考えを聞く機会となり、大変充実した会となりました。

令和2年度はコロナ禍で中止となりましたが、令和3年度は感染症対策を講じながら開催できる方法を探り、子供たちと地域がつながる機会をつくっていきたいと考えています。



3 運動型健康増進施設 BIG SMILE プロジェクト

「からだ、こころ、満面の笑み」をキャッチフレーズに、スポーツを通じて市民の健康増進や交流の場を創出するための運動型健康増進施設 BIG SMILE プロジェクトを推進しています。令和2年8



月にオープンした市民水泳場「えみくる ARIDA」は、このプロジェクトの核となる施設で、地元の紀州材をふんだんに使用した屋内プールの他、ジャグジー、2階には健康増進ジム、フィットネススタジオを併設し、市民の健康増進、癒し交流の場となっています。この「えみくる ARIDA」を利用し、市の保健事業として特定保健運動指導をはじめ、オリジナル事業の生活習慣病予備群への3か月体験コースなどの事業を展開しています。また、令和3年5月からは、指定運動療法施設として厚生労働省から認定され、市医師会と連携し処方箋に基づいた運動療法を提供します。市民の健康寿命の延伸を図り、心の健康と体の健康を満たすことのできる施設を目指します。

さらに、隣接した多目的グラウンドや屋根付多目的広場を、新都市公園として整備し、令和6年4月の供用開始を予定しています。



4 おわりに

どんな人材を育てるか。これは、これからの時代を生き抜くために大変重要な課題です。

令和6年度には市内4中学校を統合し、一つの新しい中学校がスタートします。有田市の未来を創る、また、有田市から世界へ羽ばたく人材の育成を目指し、魅力ある学校づくりに向けて取り組んでいきます。

学校と地域の連携・協働により、郷土への誇りや愛着を育むとともに、子供たちの豊かな学びや育ちを実現していきます。また、コミュニティの拠点としての学校のあり方から「学校を核とした地域づくり」についてさらに検討していく必要があると考えています。

「心豊かな人を育み、地域で支え合うまち」。人づくりと地域づくりの好循環の創出を目指して、今後も取組を進めてまいります。

教育長

前田 悦雄

